

# 9月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和2年9月末現在〕

令和2年10月13日  
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」「売上高」「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「売上高」は悪化したが、「景況」「収益状況」はやや改善した。

業種別に見ると、製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」は、全てで改善した。非製造業では、「景況」「売上高」「収益状況」は、全てで悪化した。

製造業は、新型コロナウイルスの影響が一部業種で落ち着きを見せたことで数値が改善した。非製造業は、前年同月が消費増税前の駆け込み需要により売上高が増加した業種もあり新型コロナウイルスの影響と重なりさらに数値が悪化した。

## 景況DI

製造業は、前月比7.7ポイント改善の-57.7ポイント、非製造業は、前月比4.2ポイント悪化の-37.5ポイント、全体では、前月比2.0ポイント改善の-48.0ポイントになった。

## 売上高DI

製造業は、前月比15.4ポイント改善の-61.5ポイント、非製造業は、前月比25.0ポイント悪化の-29.2ポイント、全体では、前月比4.0ポイント悪化の-46.0ポイントとなった。

## 収益状況DI

製造業は、前月比15.4ポイント改善の-61.5ポイント、非製造業は、前月比4.1ポイント悪化の-33.3ポイント、全体では、前月比6.0ポイント改善の-46.0ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に業界景況ウォッチング連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	食料品	パン	10月より茨城県の最低賃金がまた上昇する。今年の引上げ幅は例年に比べ少ないが、このコロナ禍の最中であっても上昇すること自体理解できない。様々な補助などを受けながらなんとか踏ん張っている中小企業に追い打ちをかけるようなもの。
		味噌	
		酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県8月の清酒課税移出数量は、新型コロナウイルス感染拡大第2波の拡大が頭打ち状況もあり、清酒全体で前年同月比89.1%まで戻した。本格焼酎については、7月とほぼ同率の対前年同月比75.7%であった。清酒については、高級酒である特定名称酒に対して全体量の48%の普通酒が前年同月比79.5%と低位であった。特定名称酒は前年同月比100%であった。また、清酒の輸出については、新型コロナウイルスのパンデミックによる落ち込みから戻ってきており、8月の輸出数量(全国ベース)は前年同月比97.0%であった。米国は依然厳しいが、香港・台湾・シンガポールが伸びてきている。 ○県内当業界について 当業界は新型コロナウイルスにより非常に大きな影響を受けており、治療薬が行き渡るか感染拡大が収束するまではこの状況が続くと思われる。Withコロナの新しい営業が必要となる。行動が制限されるなかで、家飲みの推進や飲食店への高級酒の売り込みがキーポイントとなる。
		納豆	新型コロナウイルスの影響により土産品の売上悪化。今後 GoToトラベルがどう影響するか期待したい。一般消費者用の納豆は前年よりも売上は若干増加。また、人手不足は未だに改善しない。
		菓子	人の移動はでてきているようだが、十分ではない。購買力に力がありません。
		漬物	消費の落ち込みが目立つ。
	繊維工業	織物	受注が少ないため、従業員(織子)の待機が増加。
		袋物	まだまだ新型コロナウイルスの影響は大きいですが、少し回復の兆しが見えた。新政権になり今後期待したい。
		衣服	
	木材・木製品	製材	・連休前後に多少の動きはあったものの、全体的には変わらず構造材、羽柄材ともに低調な荷の動きとなった。 ・原木の出材は、8月に続き少ない。 ・プレカット工場の稼働状況は、8月に比べて上向き。 ・輸入材については、9月に入り構造材の荷動きが先月と比べると回復傾向。
		県北地区プレカット	前年同月比10%減少。10月の見積もりはまだ多くない。雇用調整助成金の支給でなんとか凌いでいる。
		県央地区プレカット	9月後半からは加工量が微増傾向にあったが、前半から中旬頃までは加工量が少なく全体としては低調な動きとなった。見積件数は増えてきているが、加工まで繋がる物件の動きが以前より鈍くなってきている。10月は大型物件の加工も入り、若干の加工増が見込める予定。
紙・紙加工品	段ボール	6月・7月と悪いなりに戻りつつあったものの、9月は8月同様に悪化した。ただ、9月の連休などに人々が観光地などに外出したため、10月からは持ち直すことが期待される。9月の組合員の売上は前年並みから25%減少まで様々であった。	
印刷	総合	新型コロナウイルスの影響が長引き、営業日カレンダーを大幅に変更し、業務閑散期には休業日を導入して対応。資金繰りも悪化してきている。	
化学・ゴム	自動車部品		

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
製 造 業	窯業・土石製品	県央地区石材	
		県西地区石材	
		コンクリート製品	
		焼物	依然として新型コロナウイルスの影響はあるが、9月に入り国の施策もあり人の流れが少しずつではあるが戻ってきている。特に、土日祝日が目立つ。笠間焼産地業界としても小さなイベントから実施し、経済の流れを促進していきたい。
		生コンクリート	
	鉄鋼・金属	鍍金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界全体の景況について受注量は前年度並みの受注があった。5月～8月までが低調な売上だったので、売上は前月比では大きく改善した。資金繰りについても銀行をはじめ金融団の協力もあり各企業とも比較的改善している。</li> <li>・金属材料は貴金属・ニッケル等は値上がりの傾向。亜鉛金属は価格が低下している。</li> <li>・工業薬品は大きな変化はない。</li> <li>・今後の景況について9月は改善したが、10月以降については9月が一時的なものなのか予断を許さない状況。</li> </ul>
	一般機器	精密機器	
		工業団地	対象7組合員(製造会社)の売上状況は、前年同月と比較して増加が4社、減少が3社となった。全体増減率は前年同月比94%であった。一部前年並みに回復した組合員もみられるが、依然前年同月比では6%減少と全体では回復が遅れている。輸出関連は順調に好転傾向と伝えられているが、国内向けはまだ回復途上であり、受注の早期回復に期待している。
		重電	
電気機器			
輸送機器	自動車部品	生産高の減少傾向が顕著だが、やや下げ止まりつつある様子もうかがえる。	
	輸送車両		
その他の製造業			
非 製 造 業	卸売業	水産卸	精算所取扱高は、前年同月比0.07%減少。運動会等の各種イベントの規模縮小や中止が影響し、5月以来3ヶ月ぶりに前年を下回った。新型コロナウイルスの影響と前年同様サンマが不漁で入荷が少なく、販売価格が高値で推移しているため、仲卸業者・買受人ともに販売に苦慮している。市場内でも毎年恒例の年末商品の展示会も中止になり、年末商戦に向けて予想できない状態である。
		県南地区卸	売上は全体的に前月より増加してきたが、前年同月比90%に推移。100%回復にはもう少し時間がかかる。
		食品卸売業	野菜果実合計で前年同月比101%の取扱高となった。9月に入ってから、8月までの単価高からは一転して単価が急落した品目がいくつかあったが、中旬以降は多くの品目が例年並みに落ち着いている。
		セメント卸	袋セメントの出荷袋数は、前年同月比9%増加。新型コロナウイルスの影響はなく、令和2年度上半期では前年比101.5%と減少に歯止めがかかっている。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非 製 造 業	小売業	
	県北地区共同店舗	前年同月比で売上102.1%、客数104%となった。市のプレミアム付商品券の影響なのか好調だった。プレミアム付商品券の販売期間が9月～11月末、利用期間が9月～12月末のため、今後も期待したい。
	県央地区共同店舗	館全体の売上は前年同月比92%、食品が同101%、飲食が同95%となった。大手ファッションブランドの店舗撤退に伴い、売上、来店客数が減少。集客イベントがまだ実施できず、チラシ折込による売上向上を図っている。10月の市内イベント「かさま菊まつり」は規模縮小にて実施予定なので観光客の買い回りに期待する。
	県南地区共同店舗	待ち望んでいた気温の低下により衣料品関係にやっと動きが出たが、相変わらず客数が伸びず苦戦は続いている。ショッピングセンターとして、イベント・催事等を含めた集客対策ができないのが歯がゆい。売上は、前年同月比で全体82.1%、衣料98.8%、文化品78.2%、食品92.2%、飲食95.5%、サービス77.7%であった。
	クレジット	
	家電	9月も暑さが続き、エアコン・空気清浄機の売上が好調だった。また、コロナ禍で、調理家電(炊飯器、電子レンジ)の付加価値商品の売上も好調。自宅で過ごす時間が増えたことにより、ニーズが高まっている。
	石油	石油燃料の消費については新型コロナウイルスの影響は減少し回復しつつあるもの、前年同月は消費増税前の駆け込み需要があったため、前年同月比は9割を下回った。ガソリン販売価格は前年同月比8.9円下落しており、収益確保が難しくなっている。
	農機具	
	中古自動車	売上は前年同月比89.8%、販売台数は同69.2%、販売価格は同129.6%であった。前年同月比で販売台数及び売上が大きく減少したが、前年同月は消費増税前の駆け込み需要による販売増加があり、今年度のコロナ禍による販売低迷と重なって大きな減少につながった。また、販売価格は8月から大きく上昇しており、流通車不足による仕入値高騰が続いているものの販売台数が上向きになれば小売市場の回復が期待できる。
飲食品	大きな状況の変化はないが、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き顧客の外出機会の増加から、スーパーの業界は売上が今までよりも伸びなくなっている。今年度に限っては、新型コロナウイルスの影響で今後も変化していく見込み。	
商店街	水戸	
	筑西	新型コロナウイルスの影響により来店客数減少。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数(持込検査)は、前年同月比で普通車が99.6%、軽自動車が98.9%となり、普通車・軽自動車ともに微減となった。
	ホテル・旅館	昨年9月は茨城国体が開催されたため、正確な対比は難しいと考えられる。県内イベントは中止が続くものの、GoToトラベル事業の影響により茨城県を除く関東エリアからの顧客が増加し、県内全域の割合として6割は県外からの流入となった。ただし、団体客はなく個人客がほとんどを占めている。また、宴会(昼食含む)利用の割合は1割程度となっている。
建設業	総合	公共工事の発注は順調で各社に工事が行き渡った。今後は年度末工事完了に向け工程管理に重点は置かれる。技術者、労務者不足は深刻で今後受注を増やしても工事を工期内に完成できないことが懸念される。
	電気工事	
	管工事	公共事業に伴う材料売上は増加したものの、一般住宅などの民間工事に関わる仕事が著しく減少し、売上・収益ともに影響があった。
	交通安全施設	
	型枠工事	組合員の状況は、売上・収益が増加した事業者は少数で、大多数が不変であった。今後もそう変わらない状況で推移することが想定される。今後も三密を避けながら新型コロナウイルス対策を継続していきたい。同時に「安全第一主義」を徹底しながら作業を進めていく。

報告者名  
報告年月

茨城県中小企業団体中央会  
令和2年9月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
非製造業	運輸業	9月の組合員数は117名、車輛台数は149台で7月と比較して変化がなかった。また、全国連合会での8月の組合員数は7,666名、車輛台数は9,090台で前月と比較して25名減少、35台減少であった。
	県北地区一般貨物	主要顧客の動向について、9月は期末月でもあり8月に比べれば出荷物量は増加したが、昨年9月の物量には戻らず、売上高も減少している。収益は厳しい状況が継続している。
その他の非製造業		

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	パン	学校給食におけるパン給食回数増の要望。
	酒	酒造業者は新型コロナウイルスにより重要な経済的被害を受けており、今後の経営存続に懸念が生じている。行政への再度の持続化給付金等の財政支援のご検討をお願いしたい。
小売業	県央地区共同店舗	コロナ禍による、消毒液などの消耗品経費もかさみ、大きな負担となっている。コロナに関する消耗品費用など継続的な支援（補助金）を希望する。
	石油	・新型コロナウイルス感染症による経営環境悪化に対する補償 ・揮発油税を課税している二重課税の廃止
建設業	総合	技術者不足の原因の一つに、IT及びIoT、i-Constructionを道具として使用できる技術者が要求されている。地方建設企業においてはパソコンをExcelレベルで使用できるレベル止まり技術者が一般的である。急速なシステム化は管理の外注化を余儀なくされるため逆に企業を疲弊させることの検討をお願いしたい。
	型枠工事	今月から新卒高校生の選考が開始されました。官民をあげて、建設業界（専門工事業者を含む）を盛り上げる対策を打って下さい。

月次景況調査 9月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	9月	8月	前月比	9月	8月	前月比	9月	8月	前月比
景 況	▲ 48.0	▲ 50.0	2.0	▲ 57.7	▲ 65.4	7.7	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 4.2
売 上 高	▲ 46.0	▲ 42.0	▲ 4.0	▲ 61.5	▲ 76.9	15.4	▲ 29.2	▲ 4.2	▲ 25.0
収 益 状 況	▲ 46.0	▲ 52.0	6.0	▲ 57.7	▲ 73.1	15.4	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 4.1
販 売 価 格	4.0	▲ 4.0	8.0	▲ 7.7	▲ 11.5	3.8	16.7	4.2	12.5
取 引 条 件	▲ 20.0	▲ 18.0	▲ 2.0	▲ 15.4	▲ 19.2	3.8	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 8.3

# 中小企業月次景況調査(令和2年9月)DI値(前年同月比)

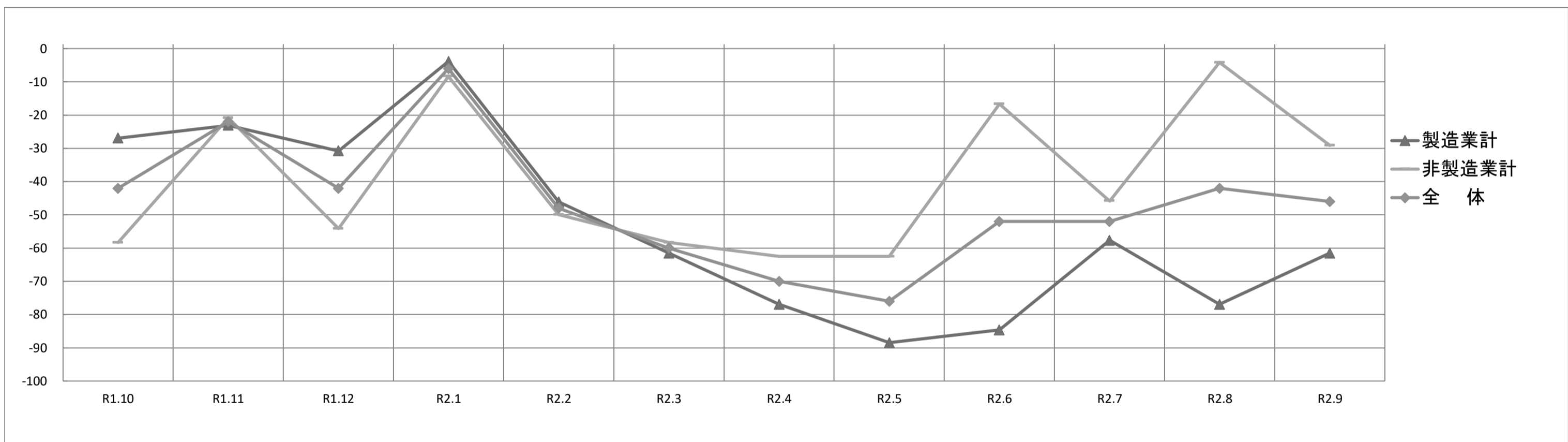
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)				DI	(内 訳)														
		増加	不変	減少	業界数		増加	不変	減少	業界数		上昇	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化	業界数		増加	不変	減少	業界数	好転	不変	悪化	業界数							
製造業	食料品	△ 66.7	0	2	4	6	16.7	1	5	0	6	0.0	0	6	0	6	0.0	0	6	0	6	△ 33.3	1	2	3	6	△ 33.3	0	4	2	6	△ 16.7	1	3	2	6	△ 16.7	0	5	1	6	△ 50.0	0	3	3	6
	繊維工業	△ 100.0	0	0	3	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3
	木材・木製品	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	0	3	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	印刷	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	化学・ゴム	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	窯業・土石製品	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2
	電気機器	100.0	1	0	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	輸送機器	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2
製造業計	△ 61.5	1	8	17	26	△ 7.7	1	22	3	26	△ 7.7	1	22	3	26	△ 15.4	0	22	4	26	△ 57.7	2	7	17	26	△ 42.3	1	13	12	26	△ 42.3	2	11	13	26	△ 19.2	0	21	5	26	△ 57.7	0	11	15	26	
非製造業	卸売業	25.0	2	1	1	4	0.0	0	4	0	4	0.0	0	4	0	4	50.0	2	2	0	4	50.0	2	2	0	4	50.0	2	2	0	4	0.0	0	4	0	4	0.0	1	2	1	4					
	小売業 (商店街含む)	△ 36.4	3	1	7	11	△ 18.2	1	7	3	11	18.2	3	7	1	11	△ 45.5	0	6	5	11	△ 63.6	0	4	7	11	△ 54.5	0	5	6	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 54.5	0	5	6	11					
	サービス業	△ 50.0	0	1	1	2					50.0	1	1	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	建設業	△ 20.0	1	2	2	5					20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	0.0	1	3	1	5	0.0	0	5	0	5					0.0	0	5	0	5	0.0	1	3	1	5		
	運輸業	△ 100.0	0	0	2	2					0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2					0.0	0	2	0	2	△ 100.0	0	0	2	2		
	非製造業計	△ 29.2	6	5	13	24	△ 13.3	1	11	3	15	16.7	5	18	1	24	△ 25.0	0	18	6	24	△ 33.3	3	10	11	24	△ 25.0	2	14	8	24	△ 8.3	0	22	2	24	△ 37.5	2	11	11	24					
全体	△ 46.0	7	13	30	50	△ 9.8	2	33	6	41	4.0	6	40	4	50	△ 20.0	0	40	10	50	△ 46.0	5	17	28	50	△ 34.0	3	27	20	50	△ 42.3	2	11	13	26	△ 14.0	0	43	7	50	△ 48.0	2	22	26	50	

## D I 値推移表 (R1. 10月 ~ R2. 9月期)

### 《売上高の推移》

前年同月比	R1. 10	R1. 11	R1. 12	R2. 1	R2. 2	R2. 3	R2. 4	R2. 5	R2. 6	R2. 7	R2. 8	R2. 9
食料品製造業	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 66.7
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 25.0	5.0	▲ 45.0	▲ 60.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 90.0	▲ 55.0	▲ 70.0	▲ 60.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 3.8	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 76.9	▲ 88.5	▲ 84.6	▲ 57.7	▲ 76.9	▲ 61.5
卸売業	▲ 100.0	▲ 25.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 50.0	25.0	50.0	0.0	50.0	25.0
小売業(商店街含む)	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 36.4	0.0	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 27.3	▲ 63.6	▲ 9.1	▲ 36.4
サービス業	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 100.0	0.0	▲ 20.0	20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 58.3	▲ 20.8	▲ 54.2	▲ 8.3	▲ 50.0	▲ 58.3	▲ 62.5	▲ 62.5	▲ 16.7	▲ 45.8	▲ 4.2	▲ 29.2
全体	▲ 42.0	▲ 22.0	▲ 42.0	▲ 6.0	▲ 48.0	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 76.0	▲ 52.0	▲ 52.0	▲ 42.0	▲ 46.0

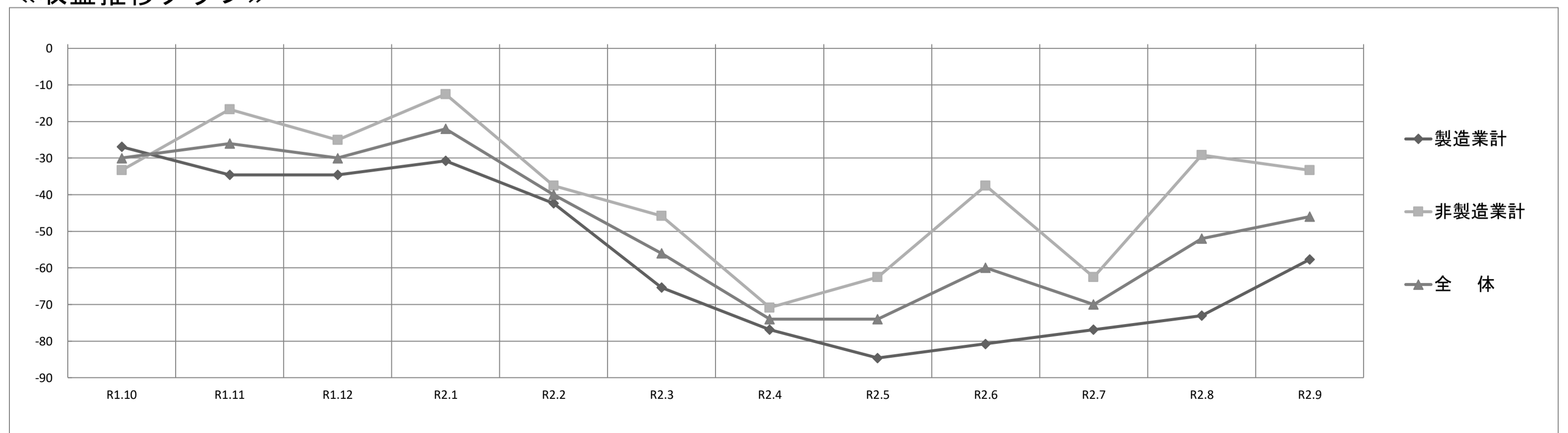
### 《売上高推移グラフ》



### 《収益の推移》

前年同月比	R1. 10	R1. 11	R1. 12	R2. 1	R2. 2	R2. 3	R2. 4	R2. 5	R2. 6	R2. 7	R2. 8	R2. 9
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 65.0	▲ 80.0	▲ 90.0	▲ 80.0	▲ 85.0	▲ 80.0	▲ 65.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 42.3	▲ 65.4	▲ 76.9	▲ 84.6	▲ 80.8	▲ 76.9	▲ 73.1	▲ 57.7
卸売業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	0.0	25.0	▲ 25.0	25.0	50.0
小売業(商店街含む)	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 63.6	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 45.5	▲ 63.6
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	▲ 40.0	▲ 40.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 45.8	▲ 70.8	▲ 62.5	▲ 37.5	▲ 62.5	▲ 29.2	▲ 33.3
全体	▲ 30.0	▲ 26.0	▲ 30.0	▲ 22.0	▲ 40.0	▲ 56.0	▲ 74.0	▲ 74.0	▲ 60.0	▲ 70.0	▲ 52.0	▲ 46.0

### 《収益推移グラフ》



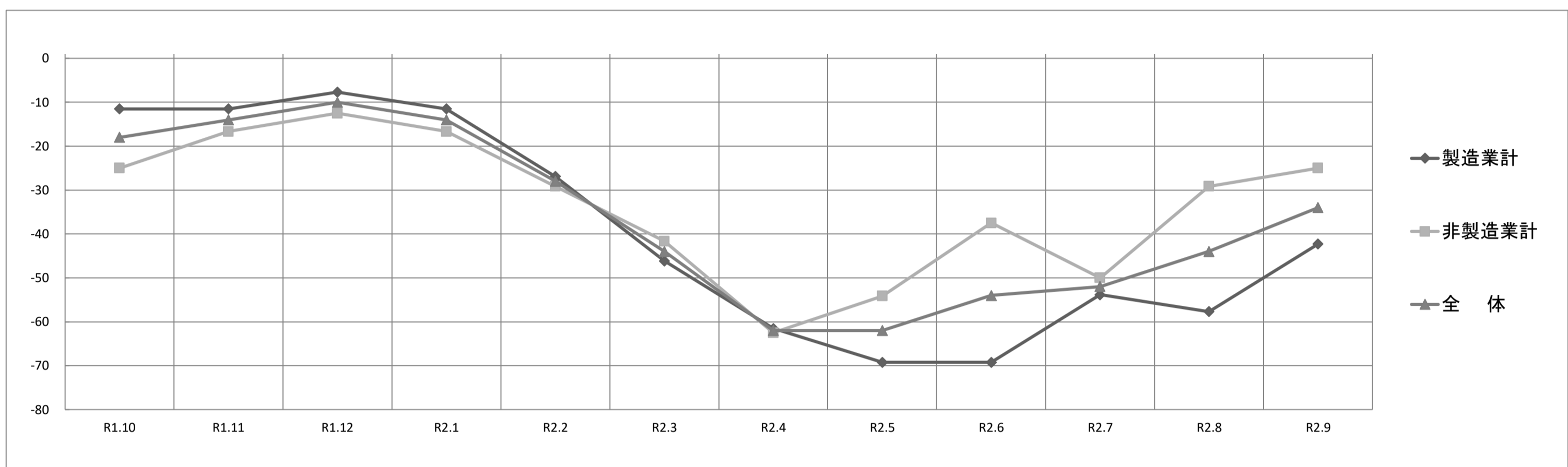


## D I 値推移表 (R1. 10月 ~ R2. 9月期)

### 《資金繰りの推移》

前年同月比	R1. 10	R1. 11	R1. 12	R2. 1	R2. 2	R2. 3	R2. 4	R2. 5	R2. 6	R2. 7	R2. 8	R2. 9
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 83.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3
製造業(食料品製造業以外)	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 55.0	▲ 65.0	▲ 65.0	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 45.0
製造業計	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 7.7	▲ 11.5	▲ 26.9	▲ 46.2	▲ 61.5	▲ 69.2	▲ 69.2	▲ 53.8	▲ 57.7	▲ 42.3
卸売業	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 75.0	▲ 25.0	25.0	▲ 25.0	25.0	50.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 63.6	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 81.8	▲ 54.5	▲ 54.5
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 62.5	▲ 54.2	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 29.2	▲ 25.0
全体	▲ 18.0	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 14.0	▲ 28.0	▲ 44.0	▲ 62.0	▲ 62.0	▲ 54.0	▲ 52.0	▲ 44.0	▲ 34.0

### 《資金繰り推移グラフ》



### 《景況の推移》

前年同月比	R1. 10	R1. 11	R1. 12	R2. 1	R2. 2	R2. 3	R2. 4	R2. 5	R2. 6	R2. 7	R2. 8	R2. 9
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 83.3	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 55.0	▲ 85.0	▲ 85.0	▲ 80.0	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 60.0
製造業計	▲ 26.9	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 50.0	▲ 57.7	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 80.8	▲ 69.2	▲ 65.4	▲ 57.7
卸売業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 25.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 20.0	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 81.8	▲ 81.8	▲ 72.7	▲ 72.7	▲ 45.5	▲ 54.5
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	20.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0
非製造業計	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 62.5	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 37.5
全体	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 30.0	▲ 28.0	▲ 50.0	▲ 66.0	▲ 78.0	▲ 72.0	▲ 62.0	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 48.0

### 《景況推移グラフ》

